

## &lt;UNOSDP &amp; Japan Project Management Seminar on SDP の概要&gt;

## ■Sport for Tomorrow(SFT)について

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される 2020 年までに、官民連携のもと、開発途上国を中心とした 100 カ国、1000 万人以上を対象に推進されるスポーツ国際貢献事業。今回の研修もこの SFT の一環として実施される。



## ■UNOSDP (国連開発と平和のためのスポーツ事務局)について



2001 年創設。本部ジュネーブ。SDP 分野の国連事務総長特別顧問の任務を支え、障害者の社会的包摂、男女平等の促進、若者の育成、相互理解の促進など、スポーツを有益なツールとして用いながら開発・人道支援・平和構築を推進していく役割を担っている。ユースリーダーシップキャンプ (YLC) は、ヴィルフリート・レムケ前国連事務総長特別顧問によって 2012 年より開始された UNOSDP のプログラムであり、世界各国で展開されている。

## ■国内外の SDP 分野を担う中核的人材の育成

YLC は、主に途上国の貧困地域や難民キャンプ等から選出された各回 30 名の若者を対象とし、スポーツを通じたリーダーシップの育成を目的とするプログラムである。日本でも 2013 年度より東京および東北にて 3 回のキャンプを実施した。本年度の研修は YLC のこれまでの卒業生に加え、すでに開発と平和のためのスポーツ (SDP) 分野で一定の実務経験を有する 14 名を対象とし、具体的なプロジェクト提案という課題を通じて、実際に SDP プロジェクトを管理・運営していくために必要な技能・知識の習得を目指すものである。研修の最終日には一般公開の国際シンポジウムにて、研修参加者がプロジェクト提案を発表する機会も提供する。

## ■参加者リスト

| 国籍     | 姓                  | 名             | 性別 | 所属団体                                  | 活動分野          |
|--------|--------------------|---------------|----|---------------------------------------|---------------|
| ★バルバドス | Farrell            | Asha Asaria   | 女性 | A Ganar                               | 多文化共生         |
| ★メキシコ  | Gutierrez Mariscal | Karla Cecilia | 女性 | InterCampus                           | 人材育成          |
| ★アメリカ  | McFadden           | Carson        | 男性 | Soccer Without Borders                | サッカーを通じた相互理解  |
| タンザニア  | Kananura           | Gonzaga       | 男性 | JAMBO BUKOBA                          | 男女平等の推進       |
| ★レソト   | Tsoanyane          | Nthona        | 女性 | Lesotho National Olympic Committee    | スポーツを通じた開発    |
| インド    |                    | Ravina        | 女性 | YFC (Youth Football club) Rurka Kalan | サッカーを通じた民族融和  |
| ★マレーシア | Lee                | Daniel        | 男性 | Run For The Nation (RunNat) Malaysia  | 若者の社会参画の促進    |
| フィリピン  | Saldivar           | Manolito      | 男性 | SILLIMAN UNIVERSITY DUMAGUETE CITY    | コミュニティ開発      |
| カンボジア  | Keo                | Sochetra      | 男性 | 特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド                  | スポーツを通じた途上国支援 |

|     |    |    |    |   |              |
|-----|----|----|----|---|--------------|
| 日本  | 奥野 | 輔  | 男性 | 特定非営利活動法人 Little Bridge                 | 平和構築         |
| 日本  | 加朱 | 将也 | 男性 | エチオピアアムハラ州政府<br>スポーツ委員会                 | 地域開発、女性支援    |
| 日本  | 加藤 | 遼也 | 男性 | love.fútbol and Save the Children Japan | サッカーを通じた難民支援 |
| ★日本 | 小林 | 忠広 | 男性 | 特定非営利活動法人スポーツコーチング・イニシアチブ               | スポーツ教育の再構築   |
| 日本  | 平田 | 恵衣 | 女性 | 日本スポーツ仲裁機構<br>特定非営利活動法人クラブス             | 被災地支援        |

★は過去のYLC修了生

## ■研修スケジュール

| 日付     | 内容   | 施設                |
|--------|--|-------------------|
| 3/3(金) | 参加者来日  | —                 |
| 3/4(土) | 9:00-10:00 オリエンテーション<br>10:00-12:30 参加者間での課題共有(10分/人)<br>12:30-14:00 昼食<br>14:00-17:00 グループディスカッション<br>17:00-18:00 プロポーザルの書き方に関する講義  | 晴海グランドホテル         |
| 3/5(日) | 9:00-12:00 日本ブラインドサッカー協会による講義(競技普及と事業の両立)、質疑応答、グループディスカッション<br>12:00-14:00 昼食<br>14:00-17:00 The FA による講義(ステイクホルダーとプロジェクトマネジメント)、質疑応答、グループディスカッション                           | 晴海グランドホテル         |
| 3/6(月) | 9:00-12:00 Fight for Peace による講義(組織能力の育成とプロジェクトマネジメント)、質疑応答、グループディスカッション<br>12:00-14:00 昼食<br>14:00-17:00 BlazeSports America による講義(持続性・資金調達とプロジェクトマネジメント)、質疑応答、グループディスカッション | 晴海グランドホテル         |
| 3/7(火) | 9:00-15:00 参加者間でのプロジェクト案プレゼンテーション  | 晴海グランドホテル         |
| 3/8(水) | 16:00 主催者挨拶(スポーツ庁木村審議官)<br>16:10 基調講演(ユニセフ職員・オリンピック井本直歩子氏)<br>16:55 休憩<br>17:10 参加者によるプロジェクト・プロポーザル<br>18:00 海外エキスパートによる講評<br>18:30 ネットワーキング<br>20:00 閉会                     | 晴海グランドホテル<br>国連大学 |
| 3/9(木) | 参加者帰国  | —                 |

## ■SDP 分野のエキスパートによる講義とディスカッション

### ①Karl Lines / The English Football Association <http://www.thefa.com/>

英国フットボール協会(The FA)は1863年に発足した世界で最も歴史のあるイングランドのサッカー統括組織である。2004年には、若者のリーダーシップやボランティアスキルを向上させるための“Football Futures”プログラムをスタートさせた。すでに25,000人以上の若者がこのプログラムの恩恵を受けており、雇用につながるようなスキルを得るなどの多くの事例を生み出している。

### ②Cynthia Frisina / BlazeSports America <http://www.blazesports.org/>

BlazeSports Americaは1996年のアトランタパラリンピックのレガシー組織として活動を継続しているNPOであり、スポーツを通じた障がい者の社会的包摂や人権擁護に取り組んでいる。今回のセミナーには、エグゼクティブ・ディレクターであるCynthia Frisina氏を迎え、BlazeSports Americaという組織が体現している持続可能性という観点から講義をしていただく。

### ③James Baderman / Fight for Peace <http://fightforpeace.net/>

Fight for Peaceは2000年にリオデジャネイロで設立された組織である。犯罪・暴力に関与している、あるいはそのような環境にさらされている若者を対象として、ボクシング・マーシャルアーツを用いながら彼らの可能性を引き出し育成に取り組んでいる。リオデジャネイロとロンドンにアカデミーを有し、世界各地のコミュニティ組織の育成にも力を注いでおり、現在25か国にFight for Peaceのパートナー組織が存在する。

### ④大坪 英太 / 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 <http://www.b-soccer.jp/>

日本ブラインドサッカー協会は、障がい者スポーツに関する競技団体でありながら、一般の小学生、中学生を対象としたブラインドサッカー体験授業である「スポ育」を展開し、子供たちにコミュニケーション・チームワーク・リーダーシップ・ボランティア精神・障がい者理解などを体系的に学べるプログラムを提供している。

## ■参加者によるプロポーザルから新規プロジェクト誕生の可能性

本研修の最終日である3月8日には、国連大学にて国際シンポジウムを開催。参加者14名の中から研修を通じて最も優れたプロジェクト案を書き上げた数名を選出し、SDP分野におけるプロジェクト・プロポーザル発表の機会を提供する。プロポーザルをもとに、SFT関係者とのネットワーキング、そして来年度以降に向けて、具体的なSDPプロジェクトの新規開発を目指す。

## ■井本直歩子氏によるスピーチ～国連職員になったオリンピック

国際シンポジウムでは、1996年のアトランタオリンピックに水泳選手として参加したオリンピックでありながら、現在はユニセフの日本人職員として活躍中の井本直歩子氏によるスピーチ(Skype)を予定。オリンピックから国連職員となった経緯や現在取り組んでいる課題、そしてスポーツの持つ可能性と役割についてお話いただく。

## ■一般財団法人嘉納治五郎記念国際スポーツ研究・交流センターについて

講道館柔道の創始者嘉納治五郎がアジア初のIOC委員に就任してから100周年となる2009年5月に、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本アンチ・ドーピング機構、東京都スポーツ文化事業団の4者により設立。嘉納治五郎の「精力善用」「自他共栄」の精神の普及を目指し、オリンピック教育、アンチ・ドーピング、スポーツ国際交流・協力に関する教育事業、調査研究、交流事業、国際会議開催等の各種事業を展開している。